

学部 / 看護専門領域 / 看護の発展

科目コード : 120520

コミュニティ政策形成論 Plannig Community Programs and Services

| | | | | | |
|---------------|--|-----|----|------|----|
| 担当教員 | 塚田 久恵 曾根 志穂 金子 紀子 | | | | |
| 実務経験 | | | | | |
| 開講年次 | 4年次後期 | 単位数 | 1 | 授業形態 | 講義 |
| 必修・選択 | 必修 | 時間数 | 15 | | |
| Keywords | 政策策定、保健事業計画、事業評価、ヘルスプロモーション、PRECEDE-PROCEEDモデル、住民参加、地域看護、公衆衛生看護 | | | | |
| 学習目的・目標 | <p>【目的】 健康づくりには、個人の対処技術だけでなく、住民参加による地域活動の強化と関係機関との共同による健康的な公共政策づくりが重要である。そして、ヘルスプロモーションの推進や地域保健法の理念の実現を目指して、地域保健活動の展開方法として様々な方法論がある。</p> <p>本科目においては、ヘルスプロモーションモデルの中でも最も代表的なPRECEDE-PROCEEDモデルを活用し、政策形成のプロセスを具体的に学ぶ。なお、地域看護診断・援助論、地域看護学実習をベースに学びを深める。</p> <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none">1. PRECEDE-PROCEEDモデルを用いた保健事業計画立案（予算含む）と評価について学ぶ。2. 地域看護診断・援助論での学びや地域看護学実習のフィールドで把握した地域の情報や課題をベースに、アセスメント・保健事業計画の立案・評価項目の設定を行い、政策形成のプロセスについて理解する。3. 個人ワーク・グループワーク、課題発表、全体討論を通して、政策形成についての学びを深める。 | | | | |
| 授業計画・内容 | | | | | |
| 回 | 内容 | | | | |
| 1 | 政策策定の基本的考え方と公衆衛生行政のしくみ PRECEDE-PROCEEDモデル（以下、PPモデル）を用いた保健事業計画と評価 | | | | |
| 2 | グループ課題1：課題設定、要因分類、アセスメント（グループ討議） | | | | |
| 3 | グループ課題1：PPモデルワークシート（課題設定、要因分類、アセスメント）の作成（グループ討議） ※グループ課題1：提出 | | | | |
| 4 | グループ課題2：改善目標・評価項目の設定、長期・中期・短期計画の作成、年間計画と予算案の作成（グループ討議） | | | | |
| 5 | グループ課題2：改善目標・評価項目の設定、長期・中期・短期計画の作成、年間計画と予算案の作成（グループ討議） ※グループ課題1・2：提出 | | | | |
| 6 | グループ課題1・2の発表 | | | | |
| 7 | グループ課題1・2の発表 ※グループ課題1・2（コメントを参考に修正したシート等）：提出、個人課題レポート：提出 | | | | |
| 8 | まとめ | | | | |
| 教科書 | 中村裕美子著者代表：標準保健師講座2 公衆衛生看護技術.医学書院. | | | | |
| 参考図書等 | ローレンスW.グリーン著：実践ヘルスプロモーションPRECEDE-PROCEEDモデルによる企画と評価.医学書院 金川克子・日高悦子編者：地域看護診断第2版. 東京大学出版会 特定非営利活動法人日本健康教育師養成機構編著.新しい健康教育一理論と事例から学ぶ健康教育への道一.保健同人社 | | | | |
| 評価指標 | 定期試験（個人レポート）50%、グループ課題の成果（ワークシート・事業計画、プレゼンテーション）40%、出席状況・授業態度 10% ・定期試験（個人レポート）では政策策定と保健事業計画作成の基本的知識と理解を問う。 ・演習では、政策策定と保健事業計画作成の基本的プロセスについての理解を確認する。 ・出席と授業への参加状況では、学習の自主性および主体性を重視する。 | | | | |
| 関連科目 | 法と社会、社会福祉論、保健医療福祉論、医療経済学、保健統計学、疫学、公衆衛生学、健康環境論、地域看護学概論、地域ケアシステム論、地域看護診断・援助論、地域看護方法論Ⅰ・Ⅱ、地域看護学実習 他 | | | | |
| 教員から学生へのメッセージ | 住民参加を重視したヘルスプロモーションモデルを活用し、コミュニティ開発の視点とプロセスについて学びを深め、卒後の保健活動の実践に結びつけてほしい。 | | | | |